

戦後 73 年・憲法施行 71 年企画

15 日(日) 会場 椋山女学園大学(星が丘キャンパス)

第1限 戦争体験を語る

「戦争のためボクは小学校に行けなかった」

尋常小学校が廃止され国民学校に入学、「天皇のために死ぬる」軍国主義教育を受ける一その実体験を語る。

石川弥作さん(1934年生まれ、84歳、元名古屋学院中高教師)

*戦時中の紙芝居「戦ひの子ら」・・・父母懇0B《ひなたぼっこ》

第2限 日本国憲法 前文「やさしい解説と群読」

朗読「戦争しない」(谷川俊太郎)「もう二度と戦はしない(第九条)(井上やすし)・・・父母懇0B《ひなたぼっこ》

「戦争をしないことをうたう日本国憲法は世界一です。特に前文は人類の進化の到達点だといってもいい。世界に誇れる芸術作品ですよ。」作家・作詞家 なかにし礼) 今一度日本国憲法を読んでみましょう。みんなで声を出して読む群読も楽しい!

第3限 映画「非戦と自由への想い～黒木和雄」を観て語ろう

地元名古屋学院高校、名大卒の映画監督後藤幸一氏が師黒木和雄の映画「父と暮らせば」などに込めた非戦の想いをご本人や友人、若者らの声を通じて伝えるドキュメンタリー映画を観て、監督とともに語り合しましょう。



第4限 歌声喫茶「戦後、元気をくれた歌謡曲」

〽赤いリンゴに くちびる寄せて～《リンゴの唄(昭和 20 年)》〽右のポッケにや夢がある 左のポッケにやチュウインガム～《東京キッド(昭和 25 年)》敗戦で打ちひしがれた日本人の耳に、こんな歌が流れてきました。親しみやすく伸びやかなメロディと戦時下では決して聞くことがなかった心に響く新鮮な歌詞。ラジオから流れてくる歌を覚えて、仕事をしながら口ずさんだものでした。歌によって励まされ、歌によって安堵し、歌によって癒され、歌によって奮い立ち、歌によって夢や希望を持ったのです。当時録音された SP レコードを聞きながら、お話と歌を楽しみましょう。(退職教 井上雅紀さん 元市邨高校教員)



映画『ザ・テノール 真実の物語』

命か、それとも歌か。ガンで声を失った韓国人天才オペラ歌手、再び彼をステージにと信じる日本人プロデューサー、友情が奇跡を生む実話です。

